

くすり一口メモ

大腸癌化学療法時の薬剤費について

癌患者にとって理想的な癌化学療法とは 治療効果が高い 副作用が少ない 安全性が高い 通常の生活が継続できる 費用が安い こととされています。今回は、費用面を絞って、当院で実施している大腸癌における抗癌剤治療の薬剤費についてまとめてみました。

レジメン	抗癌剤名及び使用量		金額 (円)	支持療法に用いる 薬剤と使用量		金額 (円)	1コースの 期間と投与日	総薬剤費(円) (患者負担額)
FOLFIRI	トポテシン	225mg	47,028	ヘパフラッシュ	2V	330	14日 day1, 2に 薬剤投与	1コース 96,715 (29,015) 1ヶ月 193,430 (58,029)
	アイソボリン	300mg	33,849	生食100ml	1V	97		
	5FU	3A	1,314	セロトーン	1A	6,461		
	5FU	15A	6,570	デカドロン	2A	420		
				5%糖液250ml	2A	258		
				5%糖液50ml	1V	97		
				内服薬		291		
FOLFOX	エルプラット	2V	14,5536	カイトリルバック注	2V	14,938	14日 day1, 2に 薬剤投与	1コース 204,495 (61,345) 1ヶ月 408,990 (122,697)
	アイソボリン	150mg	35,306	デカドロン	4A	840		
	5FU	6A	2,628	5%糖液250ml	4V	516		
	5FU	8A	3,504	5%糖液50ml	2V	194		
				ヴィーンD	2V	434		
				ヘパフラッシュ	1V	165		
IRIS	TS-1(20)	6C × 14	59,206	ヴィーンD	2V	434	21日 day1 : トポテシン day1 ~ day14 : TS-1	1コース 95,367 (28,610) 1ヶ月 161,131 (48,339)
	トポテシン120mg	120mg	27,774	カイトリルバック注	1V	7,469		
				デカドロン注2A	2A	420		
				生食20ml	1A	64		
TS-1単独	TS-1(20)	6C × 14	11,8412	なし			42日 4W投与2W休薬	1コース 148,424 (44,527)
UFT/UZEL	UFT UZEL	4C × 28 3T × 28	34,524 19,3592	なし			35日 4W投与1W休薬	228,116 (49,856)

薬用量：標準投与量 体表面積1.5m²にて計算

表記の総薬剤費は、各レジメン1コース及び1ヶ月 (TS-1は6週間、UFT/UZELは5週間) に使用する抗癌剤と、支持療法として用いる薬剤を薬価で計算してあります。なおカッコ内は患者の負担額を3割換算したものです。

大腸癌の標準的な1次治療は、FOLFIRI療法あるいはFOLFOX療法と考えられています。表よりFOLFIRI療法に使用する薬剤費は約19万円、FOLFOX療法では約41万円となり、患者には負担額3割で計算したとしても、各々6万円と12万円かかることとなります。この金額には外来で実施する場合の再診料 (初診料)、手技料、外来管理加算や、入院で実施する場合の入院基本料、手技料などは含まれていません。患者が実際に支払う金額は、薬剤費にこれらの費用を加えたものになります。

癌化学療法にかかわる医療費については高額なこともあり、患者にも大きな負担となっています。これからは癌化学療法を行う時は「高額医療費に対する保険給付制度」や「高額医療費貸付制度」について、患者への説明が必要と思われます。

参考文献) 大腸癌標準化学療法の実際 島田安博 (金原出版)

保険薬事典 薬業研究会 (じほう), 日本経済新聞夕刊 H18.9.28
(鹿児島市医師会病院薬剤部 野間口 寛)